



令和3年,8月末発行

えるるは、市民活動団体を応援しています。月刊えるるでは、市民活動を活性化するために役立つ様々な情報を発信していきます。

9月1日は防災の日

大牟田市では8月中旬に大雨が続き、令和3年8月14日には大雨特別警報が発令され、24時間降水量が8月の観測史上最大を記録しました。また8月1カ月分の降水量も平年値を上回りました。

大雨・地震・台風などの自然災害はいつでも起こります。
もしものときの備えはお済みですか？

学校や地域・公民館などの防災訓練などにも参加し、
防災力を高めましょう。



団体ロッカー・メール
BOX更新のお知らせ



団体ロッカー・メールBOXの更新団体の方は「令和3年9月1日～10月31日」を目安にお手続きください。現在多少空きがあります。ご利用よろしくお願いたします。



受付期間	令和3年9月1日より随時
利用期間	令和3年10月1日～ 令和4年3月31日（6ヶ月分）
鍵	団体でご用意ください
利用条件	えるる登録の市民活動団体 もしくは えるる利用サークル団体

イベントレポート NPO入門講座 令和3年8月7日(土) 13:30~15:30

講師 田中秀雄(えるる館長) 参加者 9名

緊急事態宣言のため延期としていた、市民活動サポート事業・NPO入門講座を開催しました。

当日は3名の欠席者が出て9名の方の参加でしたが、参加者はボランティアや非営利事業などに関心の高い方が多く、皆さん真剣なまなざしで講師の話の聞かれています。

緊急事態宣言や福岡コロナ特別警報などで、公共施設の利用中止など続いており、えるるの講座も日程の変更等で、市民の皆様にはご迷惑をおかけいたしております。今後も急な予定変更などがありえますが、講座の開催時には皆様のご参加お待ちしております。



感想より抜粋

- ・大牟田のNPOは少しおとなしいのでは。
- ・一寸難しかった。
- ・とても詳しい説明でした。
- ・分かりやすくとても良かった。
- ・NPO活動、NPO法人活動に理解が深まった。
- ・実務に大変役に立ちそうです。

今月のおススメ本

「手紙屋」～僕の就職活動を変えた十通の手紙～
喜多川 泰著

若い方々が就職前に読んでいたら、人生が良い方向に変わるだろうと思う本をご紹介します。



本の帯には「自分らしく生きたいあなたへー明日を変える10の教え」、「就職活動に出遅れ、将来を思い悩む大学四年生の「僕」は、とあるカフェで奇妙な広告と出会う。その名も『手紙屋』。10通の手紙をやりとりすれば、夢を実現させてくれるというのだが……」『主人公と一っしょに働くことの意味を見つめ直す本』とあります。

主人公西山諒太が、「カフェ書楽」で出会う不思議な広告。『はじめまして、手紙屋です。手紙屋一筋十年。きっとあなたの人生のお役に立てるはずです。私に手紙を出してください』。それをきっかけに手紙のやりとりが始まります。手紙屋からの手紙は全部で十通。一通目から十通目に至るまでの手紙屋とのやりとりの中で西山諒太が成長していく姿を生き生きと描いた小説です。

主人公の手紙に対する、手紙屋の返信の内容がとにかく深いです。

担当Hは、この本が出版された2007年は会社生活30年を超えていましたが、働くことの意味を考え直すよい機会となり、本当に読んでよかったと思いました。

また、同じシリーズで女子高校生が主人公の「手紙屋」(蛍雪編)～私の受験勉強を変えた十通の手紙～も、おすすめです。ご一読ください。



月刊えるでは市民活動（NPOやボランティア、地域活動など）で活躍中の方々を少しずつご紹介していきたいと思っています。

これらの活動で出会える・ふれあえる・学びあえる、そしてつながるを応援します。

今月のイチオシ



「同伴避難支援チーム PET'Sおおむた」さん

令和2年7月6日に大牟田市で発生した集中豪雨災害を機に、ペットとの同伴避難支援を目的として発足した市民グループ（令和3年7月より市民活動団体）さんです。

～団体発足のきっかけ～

きっかけとなったのは、救助された高齢者の男性と一緒に避難できず置いてきた犬を保護して欲しいという一本の電話からでした。大牟田市にはペットを同伴できる施設が無かったため、ペットは残して避難するか、若しくは避難を諦めるかのいずれかの選択しか無い状態だったわけです。犬を保護して欲しいという声はその後も数件続きましたので、使用されていない愛護センターを一時的にでも利用させてもらえないかと市に相談しましたが、建物の老朽化等の問題がありこれも結果的には叶いませんでした。しかし相談されたからには何かできることはないかと、ペット同伴避難施設の開設を求め、署名運動を始めました。使われていない公共施設の開放ができないか、避難情報の中にペット避難の情報も載せられないかなど、大牟田市の防災危機管理室と何度も話し合いを重ね、令和3年5月にはペット専用避難施設の設置が実現しました。

施設を確保するという最初の目標はクリアしましたので、今年度は第2のフェーズである同伴避難施設の運用のための準備に向けて頑張っていきたいと思っています。

～防災勉強会について～

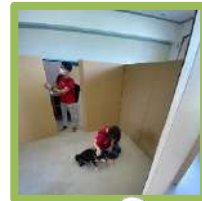
いざ災害が起きたとき、飼い主さんは落ち着いて避難行動ができるのか、必要な備蓄品は、避難所へ安心して連れていけるしつげができていいのか、とペット同伴避難者や受け入れ側の勉強会の必要を感じ熊本で被災し、ペット避難受け入れを経験された方々を講師に迎え、防災学習講演会を開催しました。



～避難所を視察して～

みんなで作ろう「おおむたモデル」

同伴避難が可能となった旧駛馬南小学校を視察しました。当たり前ですが、何の設備も無い教室。今ここに、複数の避難者とペット達が避難してきたとしたら…。同伴避難生活を余儀なくされた避難者とペットたちのストレスを最小限に抑えるためには①行政ができること②飼い主さんたちができること③私たち市民（ボランティア）ができることそれぞれが、それぞれの立場でできることを最大限にやっていくしかないのだと思います。



～今後の活動について～

令和3年9月26日より

「プロから学ぶペットの避難術」

と題しまして、いつでも一緒にいるための3連続講座を開催します。3回の講座すべてに出席できる犬を飼育している方、もしくは今後同伴避難支援活動にご参加いただける方を募集します。参加費は2000円/3回となります。問合せ先よりお申し込みください。またPET'Sおおむたの会員も募集しております。ご興味のある方はぜひ問合せ下さい。



問合せ・申込先：0944-85-7270(Ruu)

Facebook：同伴避難支援チームPETS'おおむた
LINE ID：@075ggqyq

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
			1	2	3	4
			R3年12月分 申請受付開始日			
5	6 休館日	7	8	9	10	11
12	13	14 ※人権 何でも相談	15	16	17	18 △NPO法人 設立講座
19	20	21	22	23	24	25 △えるる食堂
26 OPET'Sおおむ た 3回連続 市民講座	27 ○大牟田認知症カ フェ連絡協議会 フルディック ウォークかふえ	28	29	30		

※大牟田市主催・共催 △えるる主催 ○市民活動団体主催

つどいの広場のイベントは開催予定となっております。詳しくはつどいの広場 (52-5656) またはファミリーサポートセンター (55-3660) にご確認ください。

休館日 (毎月第1月曜日)

9月6日(月)・10月4日(月)

施設利用停止

8月10日～緊急事態宣言終了の日まで

○施設のご利用について○

※新型コロナウイルス感染症拡大の防止の為、団体のイベントは中止・延期になる場合があります。開催の有無は主催者にご確認ください。また開催される場合は福岡県の催物(イベント等)を開催する際の感染防止対策をご覧いただき、主催者・参加者ともできる限りの対策をお願いいたします。

緊急事態宣言やまん延防止法発令時における大牟田市の要請に基づき、施設の利用停止・貸し出し中止、開館時間の変更などもあり得ます。皆さまにはご迷惑おかけいたします。ご了承ください。



【発行】大牟田市市民活動等多目的交流施設 (指定管理者 NPO法人ワークスコープ)

【住所】大牟田市新栄町6番地1

【TEL】0944-52-5285 【FAX】0944-43-1214

【E-mail】eruru@roukyou.gr.jp

【HP】<https://www.omuta-eruru.com/>

【メルマガ登録はQRコードより】

